

14時30分解禁

令和元年12月 全国百貨店売上高概況

令和2年1月22日

I. 概況

1. 売上高総額	6,404億円余
2. 前年同月比	-5.0% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	76社 208店 (令和元年11月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,263,126㎡ (前年同月比:-4.1%)
5. 総従業員数	63,930人 (前年同月比:-5.8%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	5-7月 -1.6%、6-8月 -0.7%、7-9月 6.8%、 8-10月 2.0%、9-11月 -1.1%、10-12月 -8.8%

[参考] 平成30年12月の売上高増減率は-0.7% (店舗数調整後)

【特徴】

12月の売上高は、5.0%減と3か月連続のマイナスとなった。依然、消費増税後の反動が残る中、一部商材に回復傾向が見られたものの、暖冬で主力の重衣料等冬物商材が苦戦した他、土曜・祝日2日減、更には円高等によるインバウンドの不調などマイナス与件が重なった。結果、減少幅は前月より1.0ポイント改善したが前年実績には届かなかった。

顧客別では、国内市場(5.2%減/3か月連続/シェア95.3%)、インバウンド(0.8%減/3か月連続/シェア4.7%)共にマイナスしたが、インバウンドはほぼ前年並みまで戻ってきている。

地区別では、大都市(10都市/4.6%減)・地方(10都市以外の地区/5.9%減)とも、マイナス幅は縮小したものの、全都市・地区で前年に届かなかった。

商品別では、主要5品目全てで前年割れとなったが、年末商戦では、クリスマスケーキや手土産需要、生鮮などに動きが見られた。WEB受注が伸長したおせちも好調だった。衣料品は天候与件からコートなどアウターの動きが鈍かった。

令和元年の年間売上高は、既存店ベース(店舗数調整後)で1.4%減(2年連続/5兆7,547億円)と前年実績を若干割り込む結果となった。半面、インバウンドは客数減を購買単価でカバーする形で、2.0%増(3年連続/3,461億円)と前年実績を上回り過去最高額を更新した。

なお、当協会では、1月31日のプレミアムフライデーに合わせ、各種催事を併催する『プレミアム ウィンター バザール』を130店で展開する。各店で賑わいを演出し、消費の活性化に繋げていくこととしている。

【要因】

- (1) 天候：気象庁発表「12月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
◇気温が東・西日本でかなり高く、東日本太平洋側と西日本の日照時間はかなり少なかった。また、日本海側の降雪量は記録的に少なかった。
- (2) 営業日数増減 31.0日(前年同月比 ±0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 9日(「 -2日/土曜・祝日各1日減)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数113店舗)
①増加した：12店、②変化なし：32店、③減少した：69店
- (5) 12月歳時記(年末商戦(歳暮、クリスマス、年末年始商材))の売上(同上/有効回答数84店舗)
①増加した：9店、②変化なし：41店、③減少した：34店

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2019年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全 国	640,408,213	100.0	-5.0 (-5.9)
10都市	459,307,073	71.7	-4.6 (-4.7)
札幌	18,095,156	2.8	-2.9
仙台	8,544,802	1.3	-6.2
東京	175,039,738	27.3	-3.2 (-3.5)
横浜	40,063,349	6.3	-4.3
名古屋	40,325,804	6.3	-6.9
京都	26,580,200	4.2	-7.0
大阪	96,099,178	15.0	-5.1
神戸	16,339,458	2.6	-10.2 (-9.6)
広島	14,211,010	2.2	-2.9
福岡	24,008,378	3.7	-4.4
10都市以外の地区	181,101,140	28.3	-5.9 (-8.8)
北海道	1,502,135	0.2	-2.7 (-27.8)
東北	8,025,330	1.3	-5.0 (-9.8)
関東	78,330,097	12.2	-4.7 (-8.7)
中部	14,918,509	2.3	-6.8 (-8.0)
近畿	25,801,638	4.0	-2.0 (-1.6)
中国	13,441,988	2.1	-8.9
四国	10,225,108	1.6	-7.8
九州	28,856,335	4.5	-9.9 (-13.6)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	640,408,213	100.0	-5.0 (-5.9)
紳士服・洋品	39,520,515	6.2	-9.8 (-10.8)
婦人服・洋品	100,302,943	15.7	-6.9 (-8.1)
子供服・洋品	9,844,807	1.5	-11.2 (-12.6)
その他衣料品	9,837,234	1.5	-11.5 (-12.6)
衣 料 品	159,505,499	24.9	-8.2 (-9.4)
身のまわり品	81,242,339	12.7	-7.4 (-8.4)
化粧品	52,532,813	8.2	-3.3 (-4.1)
美術・宝飾・貴金属	39,552,979	6.2	-5.1 (-5.8)
その他雑貨	19,976,970	3.1	-16.1 (-19.3)
雑 貨	112,062,762	17.5	-6.4 (-7.7)
家 具	5,630,093	0.9	-2.6 (-4.2)
家 電	919,755	0.1	-7.3 (-7.5)
その他家庭用品	15,879,700	2.5	-7.8 (-10.2)
家 庭 用 品	22,429,548	3.5	-6.5 (-8.6)
生 鮮 食 品	44,760,107	7.0	-3.8 (-5.3)
菓 子	66,443,458	10.4	-0.1 (-0.6)
惣 菜	52,555,150	8.2	-0.7 (-1.2)
その他食料品	67,748,881	10.6	-3.3 (-4.8)
食 料 品	231,507,596	36.2	-1.9 (-2.9)
食 堂 喫 茶	13,282,372	2.1	-3.6 (-6.3)
サ ー ビ ス	5,206,827	0.8	-0.4 (-2.7)
そ の 他	15,171,270	2.4	15.6 (28.9)
商 品 券	20,911,796	3.3	-9.1 (-9.0)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | －4.6%（店舗数調整後／3か月連続マイナス） |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | －5.9%（店舗数調整後／3か月連続マイナス） |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	－4.6	－3.3	3か月連続マイナス
札幌	－2.9	－0.1	3か月連続マイナス
仙台	－6.2	－0.1	3か月連続マイナス
東京	－3.2	－0.9	3か月連続マイナス
横浜	－4.3	－0.3	3か月連続マイナス
名古屋	－6.9	－0.4	3か月連続マイナス
京都	－7.0	－0.3	3か月連続マイナス
大阪	－5.1	－0.8	3か月連続マイナス
神戸	－10.2	－0.2	3か月連続マイナス
広島	－2.9	－0.1	3か月連続マイナス
福岡	－4.4	－0.2	3か月連続マイナス
10都市以外の地区	－5.9	－1.7	3か月連続マイナス
北海道	－2.7	－0.0	3か月連続マイナス＊
東北	－5.0	－0.1	3か月連続マイナス＊
関東	－4.7	－0.6	3か月連続マイナス
中部	－6.8	－0.2	3か月連続マイナス
近畿	－2.0	－0.1	3か月連続マイナス
中国	－8.9	－0.2	3か月連続マイナス＊
四国	－7.8	－0.1	3か月連続マイナス
九州	－9.9	－0.5	3か月連続マイナス＊

（注）北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。（2005年までは6大都市）

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、3か月連続で全品目がマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-5.0	—	3か月連続マイナス
紳士服・洋品	-9.8	-0.6	3か月連続マイナス
婦人服・洋品	-6.9	-1.1	3か月連続マイナス
子供服・洋品	-11.2	-0.2	3か月連続マイナス
その他衣料品	-11.5	-0.2	3か月連続マイナス
衣料品	-8.2	-2.1	3か月連続マイナス
身のまわり品	-7.4	-1.0	3か月連続マイナス
化粧品	-3.3	-0.3	3か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-5.1	-0.3	3か月連続マイナス*
その他雑貨	-16.1	-0.6	3か月連続マイナス
雑貨	-6.4	-1.2	3か月連続マイナス
家具	-2.6	-0.0	3か月連続マイナス
家電	-7.3	-0.0	7か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-7.8	-0.2	3か月連続マイナス
家庭用品	-6.5	-0.2	3か月連続マイナス
生鮮食品	-3.8	-0.3	14か月連続マイナス*
菓子	-0.1	-0.0	2か月ぶりマイナス*
惣菜	-0.7	-0.1	3か月連続マイナス*
その他食料品	-3.3	-0.4	3か月連続マイナス*
食料品	-1.9	-0.7	3か月連続マイナス
食堂喫茶	-3.6	-0.1	3か月連続マイナス
サービス	-0.4	-0.0	3か月連続マイナス
その他	15.6	0.3	2か月連続プラス
商品券	-9.1	-0.3	106か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

令和元年12月 東京地区百貨店売上高概況

令和2年1月22日

I. 概況

1. 売上高総額	1, 750億円余
2. 前年同月比	-3.2% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-3.8%(90.5%) : 非店頭3.2%(9.5%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 25店 (令和元年11月対比±0店)
5. 総店舗面積	838,540㎡ (前年同月比:-0.1%)
6. 総従業員数	17,101人 (前年同月比:-2.9%)
7. 3か月移動平均値	5-7月 -1.9%、6-8月 -0.1%、7-9月 7.0%、 (店舗数調整後) 2019.8-10月 8-10月 1.5%、9-11月 -1.7%、10-12月 -8.1%

[参考] 平成30年12月の売上高増減率は-1.1%

【特徴】

- (1) 12月の東京地区売上高(3.2%減/前月より1.5ポイント改善)は、消費増税の影響が続く中、前年には届かなかったものの、ラグジュアリーブランドや宝飾・時計などの高額商材と軽減税率対象の食料品は増勢で、着実な回復基調を示している。また、入店客数は休日(土曜祝日)が2日少なかったことから3.8%減となったが、各社が展開したイベントは好評で集客に寄与した。
- (2) 主要5品目のうち、食料品(1.2%増)は、中食ニーズの高まりや手土産需要などから、惣菜や和洋菓子が牽引し2か月連続プラスとなった。季節商材のクリスマスケーキやおせちも好調で、特にオンライン受注が大きく伸ばした。年末商戦では、正月準備用の商材として鮮魚、果物、野菜が動いたほか、その他食料品も前年実績を確保した。
- (3) 雑貨(5.1%減)と身のまわり品(5.6%減)は、高額商材の伸長によりマイナス幅が大きく改善した。細分類の美術・宝飾・貴金属(1.8%増)は、高級時計や宝飾品が活発に動き3か月ぶりにプラスに転じた。化粧品は、基礎化粧品には消費増税の反動影響が残るものの、クリスマス限定コフレやメイク関連などは好調で復調の兆しが見える。
- (4) 衣料品(7.6%減)は暖冬の影響から、コート、ブルゾン、ニットなど防寒着が苦戦したが、特選衣料の他、ジャケット、ワンピース、ブラウスなど中・軽衣料は動きが良かった。
- (5) 令和元年の年間売上高は、既存店ベース(店舗数調整後)で1.2%減(1兆5,975億円)と3年ぶりのマイナスとなった。このうち、化粧品と高額品が牽引した雑貨(2.0%増)は8年連続プラスと好調を維持しており、食料品(0.3%増)は2年連続でプラスしている。
- (6) 1月中間段階の商況は、2.1%減(1/16)で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比 ±0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)
 - ①増加した: 0店、②変化なし: 5店、③減少した: 12店
- (3) 12月歳時記(年末商戦(歳暮、クリスマス、年末年始商材))の売上(同上/有効回答数14店舗)
 - ①増加した: 1店、②変化なし: 11店、③減少した: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2019年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	175,039,738	100.0	-3.2 (-3.5)
紳士服・洋品	13,182,120	7.5	-6.8 (-6.8)
婦人服・洋品	24,559,472	14.0	-7.6 (-7.7)
子供服・洋品	2,284,962	1.3	-8.4 (-8.4)
その他衣料品	2,457,552	1.4	-10.1 (-10.1)
衣 料 品	42,484,106	24.3	-7.6 (-7.6)
身のまわり品	24,035,108	13.7	-5.6 (-5.6)
化粧品	15,420,499	8.8	-2.3 (-2.6)
美術・宝飾・貴金属	12,427,640	7.1	1.8 (1.4)
その他雑貨	6,523,725	3.7	-20.7 (-20.8)
雑 貨	34,371,864	19.6	-5.1 (-5.4)
家 具	1,760,798	1.0	-3.6 (-3.6)
家 電	570,550	0.3	-1.9 (-1.9)
その他家庭用品	4,095,553	2.3	-5.9 (-5.9)
家 庭 用 品	6,426,901	3.7	-4.9 (-4.9)
生 鮮 食 品	8,254,741	4.7	-1.4 (-1.4)
菓 子	17,075,319	9.8	1.6 (1.4)
惣 菜	13,341,569	7.6	3.8 (3.8)
その他食料品	19,304,918	11.0	0.4 (0.4)
食 料 品	57,976,547	33.1	1.2 (1.2)
食 堂 喫 茶	3,110,326	1.8	-2.6 (-2.9)
サ ー ビ ス	2,144,509	1.2	-7.9 (-7.9)
そ の 他	4,490,377	2.6	22.0 (11.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	4,594,485 千円	-7.5 (-7.5)
従 業 員 数	17,101 人	-2.9
店 舗 面 積	838,540 m ²	-0.1

営 業 日 数	31.0 日	前 年	31.0 日
---------	--------	-----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、食料品が2か月連続のプラスとなった。また、衣料品、身のまわり品、雑貨が3か月連続、家庭用品が2か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、菓子、惣菜が2か月連続、美術・宝飾・貴金属、その他食料品が3か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.2	—	3か月連続マイナス
紳士服・洋品	-6.8	-0.5	3か月連続マイナス
婦人服・洋品	-7.6	-1.1	3か月連続マイナス
子供服・洋品	-8.4	-0.1	3か月連続マイナス
その他衣料品	-10.1	-0.2	3か月連続マイナス
衣料品	-7.6	-1.9	3か月連続マイナス
身のまわり品	-5.6	-0.8	3か月連続マイナス
化粧品	-2.3	-0.2	3か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	1.8	0.1	3か月ぶりプラス*
その他雑貨	-20.7	-0.9	3か月連続マイナス*
雑貨	-5.1	-1.0	3か月連続マイナス
家具	-3.6	-0.0	3か月連続マイナス
家電	-1.9	-0.0	7か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-5.9	-0.1	3か月連続マイナス
家庭用品	-4.9	-0.2	2か月ぶりマイナス
生鮮食品	-1.4	-0.1	15か月連続マイナス*
菓子	1.6	0.1	2か月連続プラス*
惣菜	3.8	0.3	2か月連続プラス*
その他食料品	0.4	0.0	3か月ぶりプラス*
食料品	1.2	0.4	2か月連続プラス
食堂喫茶	-2.6	-0.0	3か月連続マイナス
サービス	-7.9	-0.1	3か月連続マイナス
その他	22.0	0.4	2か月連続プラス
商品券	-7.5	-0.2	15か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

全国百貨店 売上高速報 2019年1月～2019年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	5,754,714,964	100.0	-1.4 (-2.2)
10都市	4,108,381,009	71.4	-0.8 (-1.0)
札幌	158,362,522	2.8	-0.2
仙台	75,932,431	1.3	-1.5
東京	1,597,557,052	27.8	-1.2 (-1.3)
横浜	352,313,755	6.1	-1.5
名古屋	367,449,032	6.4	0.1 (-2.4)
京都	238,232,122	4.1	-1.6
大阪	848,687,250	14.7	0.8
神戸	139,732,272	2.4	-3.4 (-3.8)
広島	120,008,721	2.1	-1.4
福岡	210,105,852	3.7	-1.0
10都市以外の地区	1,646,333,955	28.6	-2.8 (-5.1)
北海道	13,917,847	0.2	3.4 (-19.3)
東北	80,118,371	1.4	-3.0 (-4.7)
関東	722,870,421	12.6	-3.0 (-6.0)
中部	131,039,396	2.3	-2.5 (-3.2)
近畿	224,107,602	3.9	-0.6 (-1.3)
中国	122,759,153	2.1	-4.9
四国	93,060,462	1.6	-1.3
九州	258,460,703	4.5	-3.9 (-7.5)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	5,754,714,964	100.0	-1.4 (-2.2)
紳士服・洋品	364,325,084	6.3	-4.7 (-5.6)
婦人服・洋品	1,079,109,870	18.8	-3.6 (-4.7)
子供服・洋品	127,115,455	2.2	-5.5 (-6.2)
その他衣料品	112,818,458	2.0	-4.1 (-5.4)
衣 料 品	1,683,368,867	29.3	-4.0 (-5.0)
身のまわり品	767,274,225	13.3	-1.4 (-2.4)
化粧品	571,378,903	9.9	2.6 (2.0)
美術・宝飾・貴金属	386,091,749	6.7	8.9 (8.0)
その他雑貨	196,952,541	3.4	-7.4 (-9.0)
雑 貨	1,154,423,193	20.1	2.7 (1.8)
家 具	62,441,370	1.1	3.0 (1.6)
家 電	15,196,500	0.3	21.6 (21.5)
その他家庭用品	152,099,959	2.6	-5.7 (-7.6)
家 庭 用 品	229,737,829	4.0	-2.0 (-3.7)
生 鮮 食 品	296,975,928	5.2	-3.3 (-4.5)
菓 子	456,654,989	7.9	0.7 (0.2)
惣 菜	356,000,987	6.2	-0.6 (-1.0)
その他食料品	481,889,999	8.4	-1.9 (-2.9)
食 料 品	1,591,521,903	27.7	-1.1 (-1.9)
食 堂 喫 茶	147,004,618	2.6	-2.5 (-3.7)
サ ー ビ ス	58,929,144	1.0	0.5 (-0.7)
そ の 他	122,455,185	2.1	-0.7 (1.6)
商 品 券	130,282,481	2.3	-9.1 (-9.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

東京地区百貨店 売上高速報 2019年1月～2019年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	1,597,557,052	100.0	-1.2 (-1.3)
紳士服・洋品	125,566,780	7.9	-4.1 (-4.1)
婦人服・洋品	267,459,514	16.7	-4.0 (-4.0)
子供服・洋品	31,774,783	2.0	-3.3 (-3.3)
その他衣料品	27,244,818	1.7	-2.3 (-2.3)
衣 料 品	452,045,895	28.3	-3.9 (-3.9)
身のまわり品	228,418,426	14.3	-2.3 (-2.3)
化粧品	171,999,578	10.8	0.7 (0.6)
美術・宝飾・貴金属	121,813,499	7.6	11.7 (11.6)
その他雑貨	64,595,409	4.0	-9.5 (-9.6)
雑 貨	358,408,486	22.4	2.0 (2.0)
家 具	18,332,613	1.1	1.9 (1.9)
家 電	10,428,210	0.7	24.5 (24.5)
その他家庭用品	39,341,820	2.5	-8.7 (-8.7)
家 庭 用 品	68,102,643	4.3	-1.9 (-1.9)
生 鮮 食 品	56,264,500	3.5	-2.8 (-2.8)
菓 子	115,485,949	7.2	1.7 (1.6)
惣 菜	85,797,980	5.4	1.0 (1.0)
その他食料品	133,386,387	8.3	0.1 (0.1)
食 料 品	390,934,816	24.5	0.3 (0.3)
食 堂 喫 茶	33,659,926	2.1	-5.5 (-5.6)
サ ー ビ ス	25,154,465	1.6	-1.1 (-1.1)
そ の 他	40,832,395	2.6	-2.9 (-5.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	30,098,446 千円	-11.3 (-11.3)
従 業 員 数	207,406 人	-3.5
店 舗 面 積	10,039,919 m ²	-0.6

営 業 日 数	30.2 日	前 年	30.3 日
---------	--------	-----	--------

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>